

2016年2月12日

横浜ゴム、新城工場で乗用車用ハイインチタイヤ増産へ

横浜ゴムは、新城工場(愛知県新城市)で内径18インチ以上の乗用車用ハイインチタイヤを増産する。今年5月から新ライン建設作業を開始し、2017年6月にラインを立ち上げ、2018年4月までにフル生産可能な状態にする。投資額は約37億円。今回の増産投資によって新城工場の18インチ以上の乗用車用ハイインチタイヤの年間生産能力は現在に比べ約20%増加する。

ハイインチタイヤは運動性能に優れ、外観もスタイリッシュなため、国内外のカーメーカーでも高級スポーツカー、全世界で人気が高いSUVに純正部品として装着を進めており、補修用市場でも世界的に需要が高まっている。現在、横浜ゴムは新車装着用、補修用共に18インチ以上のハイインチサイズの乗用車用タイヤをラインアップしているが、収益性が高く、今後益々需要の拡大が見込まれることから、さらなる生産能力の増強を図ることにした。

新城工場はタイヤ年間生産能力本数において、国内外の横浜ゴムグループ中最大の乗用車用タイヤ工場。新城工場、新城南工場の2工場に分れて操業を行っており、両工場を合わせた乗用車用タイヤの年間生産能力は1,690万本に達している(2015年12月現在)。



新城工場(左)と新城南工場(右)

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム(株)広報部 担当: 田中
TEL: 03-5400-4531 FAX: 03-5400-4570